

原発がこわい女たちの会

http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/

[2012年04月](#) | [トップ](#) | [2012年06月](#) >

検索

2012年05月29日(火)

自民党県連に抗議文を提出

原発再稼働を関電に要望した自民党和歌山県連に対して、5月28日、脱原発わかやま(代表 寺井拓也)では抗議文を提出し、同時に各県会議員にも提出しました。その後、県庁記者クラブで記者会見を行いました。…朝日・毎日・和歌山放送・共同通信・紀伊民報・産経・どれだけ記事にしてくれるかわかりません。☹

以下、掲載します。(松浦雅代)

.....

県会議員の皆様へ

原発の再稼働を認めないで下さい

マスコミ報道によれば、自民党和歌山県連は5月21日、関西電力に対して、「電力は県民生活、経済活動に不可欠で、安定供給がなければ影響は多大」として再稼働を要請したとのこと。

しかし、福島原発の事故はまだ終息していません。依然として放射能の漏洩は続き、制御できない状態が続いています。4号機については、深刻な破壊を受けた使用済み核燃料冷却プールが今後の大規模地震により予測できない重大な事故を起こす可能性がある、と指摘されています。

また、事故の原因もまだわかっていません。現在、国会の事故調査委員会が調査中です。配管の破損原因が津波ではなく、その前の地震である可能性が強まっています。従って、ストレステストについても、事故の実態を反映されたものではありません。

さらに、安全指針について、原子力安全委員会の斑目委員長は、これまでのものには「瑕疵がある」と述べています。これが見直されていない現段階で、だれが、どのような基準のもとに安全だと判定できるのでしょうか。

このように原発の安全性が担保されていない、すなわち危険性が残されているもとでの再稼働を認めることはできません。

もし同様の大事故が福井で起れば、近畿の水がめである琵琶湖が汚染されて飲み水が危機に瀕するだけでなく、和歌山県は愚か、日本全土が破滅する恐れがあるのです。

現在の日本は、電力統計によれば、原発を全面停止しても、水力発電と火力発電などで日本の電力需要をまかなえる状況下にあります。この点を隠し、原発を再稼働しないと停電になると煽っていることも忘れてはなりません。

これまで、原発は「絶対安全」だという、いわゆる安全神話で国民をだまし、日本の原発政策を最も長くとり続けてきたのは、ほかでもない自民党です。自民党がまずなすべきことは、この原発政策の誤りを国民に謝罪し、二度と同じような大事故を起こさないと誓うことです。それは原発をゼロにするという選択以外にありません。

それにもかかわらず、正式な謝罪をするどころか、新たな「安全神話」に基づく再稼働を要請するということは、断じて許せません。福島事故を二度と起こさないという決意にたてば、原発の再稼働が認められないのは当然です。県民の健康と安全を考えるうえでも県会議員一人一人党派を超えて考えて下さることをお願いします。

(連絡先)脱原発わかやま 代表 寺井拓也
 和歌山県田辺市あけぼの42-40
 ☎・fax0739-25-5586

.....

2012-05-29 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#) |

2012年05月19日(土)

和歌山の原発反対運動の歴史が本になりました！

アーカイブ

[2016年11月\(2\)](#)
[2016年10月\(1\)](#)
[2016年09月\(1\)](#)
[2016年08月\(2\)](#)
[2016年07月\(4\)](#)
[2016年06月\(2\)](#)
[2016年05月\(1\)](#)
[2016年04月\(3\)](#)
[2016年03月\(2\)](#)
[2016年02月\(3\)](#)
[2016年01月\(2\)](#)
[2015年12月\(4\)](#)
[2015年11月\(2\)](#)
[2015年10月\(1\)](#)
[2015年09月\(3\)](#)
[2015年08月\(3\)](#)
[2015年07月\(2\)](#)
[2015年06月\(2\)](#)
[2015年05月\(2\)](#)
[2015年04月\(2\)](#)
[2015年03月\(2\)](#)
[2015年02月\(2\)](#)
[2015年01月\(5\)](#)
[2014年12月\(3\)](#)
[2014年11月\(2\)](#)
[2014年10月\(2\)](#)
[2014年09月\(2\)](#)
[2014年08月\(1\)](#)
[2014年07月\(2\)](#)
[2014年06月\(1\)](#)
[2014年05月\(3\)](#)
[2014年04月\(4\)](#)
[2014年03月\(1\)](#)
[2014年02月\(3\)](#)
[2014年01月\(3\)](#)
[2013年12月\(4\)](#)
[2013年11月\(1\)](#)
[2013年10月\(3\)](#)
[2013年09月\(5\)](#)
[2013年08月\(1\)](#)
[2013年07月\(3\)](#)
[2013年06月\(5\)](#)
[2013年05月\(3\)](#)
[2013年04月\(2\)](#)
[2013年03月\(6\)](#)
[2013年02月\(2\)](#)
[2013年01月\(3\)](#)
[2012年12月\(2\)](#)
[2012年11月\(1\)](#)
[2012年10月\(2\)](#)

『原発を拒み続けた和歌山の記録』
 ■「脱原発わかやま」編集委員会編・汐見文隆監修
 寿郎社・5月発行

これは、長らく運動の内部にいて直接関わってきた人たちによる著作で、「原発がこわい女たちの会」の松浦雅代さんも執筆しています。

和歌山そして紀伊半島には1基の原発もありません。福島第一原発事故によって放射能の恐怖におびえ、ふるさとを奪われた人々をみるにつけ、(申し訳ないが)原発のないことは私たち地域住民にとって僥倖である、と誰も思います。沖縄の次に原発から遠い県、それが和歌山なのでから。原発がないこと、これは誇るべき現実であり、立地条件からみてもほとんど奇跡といってよいでしょう。しかしそれは偶然などではなく闘い取られたもの、ということを書きによって痛感させられます。

1960年代から、日高町阿尾、同小浦、日置川町、那智勝浦町、古座町、が建設候補地にあげられ、国や県に後押しされた関西電力による執拗な推進策に町政住民組織が狙われ、すんでのところでも地元でもGO・・・ということも度々。フクシマはおろか、スリーマイル島もチェルノブイリ事故もまだなかったころ、「原発は安全、国民に貢献」が何の疑いもなしに広く受けとめられていたころ、ほとんど直感的に原発の危険性を見抜いた住民がいたこと。「お上」にたてついて、関電の執拗な攻撃に闘い挑んだ女たち、男たちがいたこと。近所同士でいがみあわねばならない苦しい闘い、薄氷を踏む攻防をしながら、人々は鍛え上げられ英知を結集させ、持続してきたのです。

電力需要の調整、自然エネルギーの開発、原子力発電コストの再計算、電気料金の総括原価方式の見直し、これは福島原発事故を受けて打ち出された日本政府の政策ではない、のくだり(p.146)は膝を打つところです。今から30年も前に、和歌山の住民が主張していたのです(宇治田理論)。そのほか、早くから原発の誤りを指摘して手弁当て住民の運動を支援する人たちもいました。

あとがきに「和歌山県に原発計画があったんですか？」多くの人から聞く言葉だ、とあります。そして原発の歴史を記録しておくことを決意させる出来事が、2011年3月11日の福島原発事故だったのです。「紀伊半島にはなぜ原発がないのか？」——和歌山で原発を拒み続けた人々の運動の具体的な事実と経緯を知ることによって、あとに続くものとしてまがいがなく勇気づけられます。たとえこの記録が「和歌山県の原発の歴史のごく一部に過ぎない」であったとしても。

原発を拒み続けてくださったみなさん、ありがとう。そしてその記録を1冊の本としてまとめてくださった関係者のみなさん、ありがとう！ごろうさま！(sora 記)

■この本は書店で買えますが、「原発がこわい女たちの会」でも取り扱っています。

2012-05-19 | 記事へ | コメント(0)

2012年05月12日(土)

「原発がこわい女たちの会ニュース」80号発行

2012年5月6日、日本の原発はすべて止まりました！
 1966年東海原発稼働以来、46年ぶりのこと。
 これからが正念場といったところでしょうか。
 会員のみなさまには紙ベースでお届けしましたが、
 ニュース80号で取り上げた記事の中から、
 がれき問題を中心にアップします。

■「原発がこわい女たちの会」結成25年のつどい

日時 2012年3月10日13:30～
 会場 あいあいセンター6階ホール
 ☆映画「チェルノブイリハート」上映と
 ☆記念講演「今・福島とチェルノブイリを語る」
 講師 今中哲二氏(京都大学原子炉実験所助教)

講演を挟んで2回の映画上映には300名近い参加がありました。科学者としてながねん原発問題に関わってこられた今中先生のお話したいへん説得力があり、またフロアから質問も相ついでいました。

○バラの花を頂きました。会員外の有志から贈って頂いたもので、「原発がこわい女たちの会」25年のつどいの会場を彩りました。終了後は、次に「つなぐ」

- 2012年09月(2)
- 2012年08月(2)
- 2012年07月(4)
- 2012年06月(4)
- 2012年05月(3)
- 2012年04月(1)
- 2012年03月(1)

最新コメント

- [日韓の原発事情、国 by 民 守 正義(08/21)
 そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)
- コメントありがとう by sora (12/05)
- 突然すみません。東京 by 里美(11/22)
- 10/26と11/29のチケッ by 角谷(10/23)
- starさんコメントあり by sora (09/14)
- このブログを読むまで by star(09/13)
- こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)
- 現在稼働している大飯 by star(04/09)
- 廃炉産業を起こしてほ by kaziharayosiyuki(03/14)

カレンダー

< 2012年05月 >						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

最新記事

- 琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号も廃炉に！ 11・13 琵琶湖集会(11/15)
- 汐見文隆先生、ありがとうございます(11/08)
- 原発がこわい女たちの会 ニュース99号発行(10/12)
- 高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)
- 老朽原発・美浜3号機は廃炉に！パブコメを出そう(08/28)
- ピースボートで韓国古里(コリ)原発を見学してきました(08/21)
- 熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)
- 老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い(07/17)
- 原発のない社会を投票で示そう！(07/05)

バラの花として参加者に1本ずつ手渡しました。
 ○今回は司会・受付など、皆さまにお手伝い頂きました。多くの人たちの協力で結成25年のつどいを開催することができました。ありがとうございました。

原発がこわい女たちの会
 ニュース98号発行(07/04)

SCHEDULER

ナビゲーション

トップ

RSS

ID:

PASS:

サイト管理者

SSLモードでログイン

BLOGariは2017年1月末日サービス終了します

■放射性がれきについて(その2)

前号(3月10日発行79号)でも書いたが、2月末の和歌山県議会で、藤本まり子議員が質問し、知事は、「国が求めている広域処理が本当に必要なのか疑問である。本県においては、焼却能力の余力が少なく、市町村が所有する最終処分場の残容量が逼迫しており、受け入れられる状況にない。」と答弁。和歌山市長も慎重論であったので、安心していた。

◎和歌山市議会が「がれき受け入れ」のニュース
 ところが3月10日の「女たちの会25年のつどい」が無事終わり、やれやれと思う間もなく、3月14日、和歌山市議会が3月22日の最終日にがれき受け入れを全会一致で決議する、との話が飛び込んで来た。

東日本の悲惨な津波のようすを見ると一日も早い復興は誰もが望んでいること。だが、がれきの放射能を正しくチェックするのは困難であるし、放射能は拡散・飛散・移動させずに閉じ込めるのが原則だ。それが昨年8月に公布された「放射性汚染物質対処特措法」によって放射性がれきの広域処理が決まった。8000Bq/kgまでOK。2005年には原発解体等で大量に発生する放射性廃棄物に困り、一定レベル(クリアランスレベル)以下の濃度のものを「一般廃棄物」や「産業廃棄物」として処分する法改正がなされ100Bq/kgが適用されていた。ところが福島後、環境省ははるかに越える「がれき8000Bq/kg」を決めた。基準の決め方は「安全」ではなく、経済的・政治的なもの。そして二重基準。

○ご記憶の方もあろう。3月6日の朝日新聞に、政府広告「みんなの力でがれき処理 災害廃棄物の広域処理をすすめよう環境省」が見開き全2面のカラー写真で掲載された。ちなみに受注は公告大手の博報堂とのこと。政府の「がれき広域処理」と「除染」キャンペーンに昨年度で宣伝費として9億円使ったそうだ。今年度は、がれきに15億円、除染に15億円の宣伝費が計上!

除染とがれきの宣伝費に数十億円の税金が使われる。これで私たち国民が飼い馴らされるばかりか、マスコミが復興支援の遅れや疑問を書けなくなる…とても意図的なものだ。

○実際のがれきの量は環境省の発表では;

東日本大震災で、岩手・宮城・福島の3県で、がれきは2300万トン
 今回の広域処理は岩手・宮城の分の約20%のみ
 それを日本全国にばらまく計画なのだ。ちなみに、阪神・淡路大震災のときのがれきは2000万トン。これらの数字を見ただけでも、がれきの広域処理には？がつく。

○あるお母さんが市会議員の人に「がれき受け入れは止めて、福島の子どもたちを受け入れるような支援をしてほしい」と言ったところ、「子どもは金が掛かるが、がれきは金が掛からない」と返されたという。何を言うのかと驚いたが、これが本音かも知れない。私たち市民の復興の願いと違うところで、物事が動いているようだ。がれきだけで1兆円以上の予算が付いている。交付金のうまみに繰り広げられるがれきキャンペーン、あちこちの自治体が手をあげ、和歌山市議会もその一つなのだろうか。

■ここで、がれき問題を考え受け入れに反対する活動を追ってみると;

◎3月19日 神戸大学大学院の山内知也教授を招き、和歌山がれき問題を考える有志で「勉強会」を開催。

緊急な勉強会だったが、70人以上の人が参加。市議会議員9人、県会議員2人も参加いただいた。

◎3月22日 和歌山市議会は全会一致でがれき受け入れを決議した。

この日は50人以上の市民が市議会傍聴。その後、市役所の一室で皆さん集まり、今後の対応を話し合った。

3/31に準備会、4/5事務局会議

◎4月14日 「子どもたちの未来と被ばくを考える会」を結成
 結成総会と池田こみち氏の記念講演を開催(52名参加)

…なんともあわただしい過酷な1ヶ月(松浦)…

■この他の活動に関して会員からの報告

☆さよなら原発3.11関西一万人行動・中之島一帯

☆3月12日 関西電力大飯原発3.4号運転差止の仮処分提訴

☆5月6日 仮処分裁判の原告・支援者集会

☆意見広告に参加して頂いた皆さんありがとうございました。
 2012年2月25日朝日新聞大阪本社版朝刊

☆1000万署名は5月末日まで引き続き集めていますので、お手元に残っている方は松浦までお送り下さい。

2012-05-12 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#)

